



## 男女共同参画センター支援団体の活動の紹介

# らいてうの会

今回は、日ごろ男女共同参画センターを利用している支援団体「らいてうの会」を紹介します。

らいてうの会代表の八木さんにお話をうかがいました。



### らいてうの会のはじまり

2001年（平成13年）9月、八千代市女性研修センター（現在の男女共同参画センター）にて「平塚らいてうの歩んだ道から今を読む」と題して、全6回の女性学講座Ⅰが開講されました。

平塚らいてう（1886(明治19)年－1971(昭和46)年）は生涯を通して、人としての女性の解放運動や世界の平和運動などに尽くしました。1911(明治44)年、文芸雑誌『青鞥（せいとう）』発刊に際して、らいてうが書いた「元始、女性は実に太陽であった」で始まる創刊の辞は、大正デモクラシーのなかで大きな反響を呼びました。

講座終了後、女性史の学習を続けたいと2002年3月に13名の有志で「らいてうの会」を立ち上げ、会の名前は平塚らいてうからいただきました。



### らいてうの会の活動

設立以来、月1回男女共同参画センターで自主的に女性史の学習をして、毎年3月に1年間の学習のまとめとして記録誌を作成しています。



▲ 学習を続けること7年。7冊の記録誌ができました。

フィールドワークとしては「らいてうの家」訪問、「女性と仕事の未来館」見学などに行きました。10月27日には富岡製糸場見学の予定です。

また、一般の方々に向けて毎年「公開講座 講師折井美耶子先生」を開催しています。

らいてうの会の講師折井美耶子先生は、女性史研究者として平成7年からセンターの講座に関わってこられました。

成城にお住まいの先生は、晩年の平塚らいてう—小柄で銀髪のも静かな美しい女性—との出会いを通して「生きることは行動すること。ただ呼吸することではない」というらいてうのメッセージを伝え続けています。

これまでに51人の日本女性の人生を学び、2008年から海外の女性にも目を向けています。平塚らいてうが「元始、女性は太陽であった。真正の人であった」というように、女性が生き生きと輝いている社会になるために学び続けていきたいと思っています。



### らいてうの会のメンバーより

#### 時代を拓いた女性たち

岩井由利子

「らいてうの会」は過去の偉大な女性たちを取り上げて、その女性史を勉強している会です。折井先生は、一人一人の人物の人生を時代背景とともに深く、解りやすくお話しして下さり、その人となりを知ることが出来ます。今までに取り上げた日本人の女性は50人を超え、現在は海外の女性について学んでいます。外国の女性となると尚更知名度も低く、知らないことばかりで、毎回新しい発見があります。

年に一度の公開講座やフィールドワークがあり、長野県にある「らいてうの家」にも行ってきました。

私たちは先人たちの類稀なパワーの上に生きていることを忘れてはいけないと思います。



▲ 「らいてうの家」の前で（2007年5月）

—長野県上田市 あずまや高原—

#### 出会いからの贈り物

宮越和歌子

センター主催の平塚らいてうの講座に参加したのは、8年前の9月でした。その時折井先生の講座でらいてうに出会い、もっと学習を続けたい、という思いで入会しました。

らいてうを通して出会った会の方々に支えられ、学び続ける姿に勇気づけられ、続けさせていただいています。

先生を通していろいろな時代の女性たちに出会い、今自分が当然のことと思っていることが、たくさんの女性たちからの贈り物だということがわかりました。でも何より、それぞれの女性たちがとても魅力的で、その出会いを楽しんでいます。名前さえ知らなかった女性が、心の中で自分に何らかの影響を与えてくれる。その楽しさを会の皆さんとともに共有できることが、私の喜びです。

#### 広く深い世界へ

渡辺旺子

折井先生の女性史の講義は、平成14年3月からずっと現在まで続いています。平塚らいてうに関わる女性たちの歴史から始まって、どんどん範囲は広がり、現在は海外の女性たちにまで及んでいます。女性の自由のためにたたかって生きた個性豊かな女性たちの生涯を、折井先生の広く深い研究の宝の

山から私たちに惜しみなく聞かせてくださる貴重な講義です。何う私たちは、ついそのお話に引き込まれて聞き入っていますので、2時間はあっという間に過ぎてしまい「はい、今日のお話はここまでです」と先生に言われてもすぐには現実の世界に戻れない状態です。

先生のほうが遠くからおいで下さって、私たちは近くでこんな貴重な講義を何うことができるなんて本当にありがたいことだと心から思っています。毎回楽しみです。

### 公開講座のお知らせ

#### 「女性史から学ぶ

#### 『女性科学者の群像』上映と解説

黒田チカ(化学)、保井コノ(生物学)、湯浅年子(物理学)など科学者として先駆者となった女性たちの歩みを、女性史研究者の折井美耶子さんの説明で学びます。

日時:平成21年11月17日(火)

午前10時～12時

場所:男女共同参画センター講習室

(八千代台東南公共センター4階)

費用:無料

### 入会のお誘い

私たちと一緒に、女性史を学びませんか。

活動場所:男女共同参画センター

活動日時:隔月第4火曜日 午前10時～12時

会費:2,000円

会員数:13名

### 問合せ・申し込み

「らいてうの会」・八木

電話 482-4501(午後6時以降)

